

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月23日現在

機関番号：34310

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2012

課題番号：21520325

研究課題名（和文） アポリネールの文学批評から見たベル・エポック期におけるフランス・モダニズムの諸相

研究課題名（英文） Study on aspects of French modernism in the Belle Epoque from viewpoint of Apollinaire's literary criticism

研究代表者

伊勢 晃（ISE AKIRA）

同志社大学・グローバル・コミュニケーション学部・教授

研究者番号：00379059

研究成果の概要（和文）：我々は、ベル・エポック期におけるフランス・モダニズムの諸相を明確にし、詳細な校注、解説を含むアポリネールの文芸評論の全訳を作成することを目標とし、研究を推進してきた。その結果、翻訳の下訳作業はほぼ完成し、フランスでの調査と資料収集によって、基礎的資料の整備を終えた。今後は平成24年度科学研究費補助金研究（基盤研究C）「20世紀初頭のフランス文芸思潮におけるモダニズムの形成と展開に関する実証的研究」（課題番号：24520374、研究代表者：伊勢晃）に研究を引き継ぎ、さらに広範な調査を行い、出版物の形で成果を公開したい。

研究成果の概要（英文）：We've been promoting the research, with the goal to clarify the various aspects of French modernism in the Belle Epoque, and to create a complete translation of Apollinaire's literary criticism, including a detailed description. As a result, the translation work is almost complete and by collecting valuable data in France, we finished maintaining the basic materials. We'll take over the research at "An Empirical Study on the Formation and Development of modernism in literary movements and trends of the early 20th century in France" (Grant-in-Aid for Scientific Research (C) 2012-2014 (Number: 24520374, Principal Investigator: Akira ISE), and will conduct extensive research to publish the results in the form of publication.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2010年度	90,000	270,000	1,170,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学（英文学を除く）

キーワード：仏文学、文学評論、アポリネール、ベル・エポック、前衛芸術

1. 研究開始当初の背景

本研究は、アポリネールのすべての文学批評を精密に分析し、ベル・エポック期におけるフランス・モダニズムの諸相を明確にし、

この研究成果を踏まえた上で、詳細な校注、解説を含むアポリネールの文芸評論の全訳を作成することを最終的な目標とするものである。

研究代表者である伊勢は、平成 19 年度から科学研究費補助金(基盤研究C)の研究分担者として「アポリネールの美術評論から見た同時代の美術上の言説およびその変容に関する研究」(課題番号 19520275、研究 代表者 佐藤文郎)と題して、アポリネールの美術評論と同時代の画壇の関係に関する基礎研究を進めてきた。その過程で、二十世紀初頭のフランス芸術思潮を明確にするには、当時の画壇における対立図式や組織の変化を俯瞰図的に知るだけでなく、現在では忘却されている芸術家の活動を看過しないことが必要だという認識に達した。

アポリネールは無名、新進画家の作品であっても積極的に評価し、常に当時の芸術状況での位置づけと、これから予想される歩みについて語っており、アポリネールの美術評論は当時の画壇について活写した貴重な証言になっている。文芸評論においても美術評論と同様に、彼は同時代の無名、新進作家に対して、多く論評している。しかし、彼の文芸批評家としての活動についての研究は、これまでほぼ手つかずの状態であり、その文芸評論がまとまった形で提示されることさえなされていなかった。フランス本国においても、本研究連携研究者でもある Laurence Campa の *Apollinaire Critique littéraire*, Honoré Champion, 2002 が唯一存在するのみである。しかしながら、この博士論文において、対象とされているテキストは限定的であり、すべての 評論を網羅するものではない。また評論中で言及される人名やその活動に関する情報も不十分である。文芸評論すべてに関する実証的調査は行われておらず、アポリネール研究において達成されねばならない課題となっている。

本研究の意義は、アポリネールの文学批評において言及される作品および作家を全てについて、その内容およびプロフィールまで含めて実証的に調査・検討した上で、翻訳を推進し、当時の文壇研究で欠落している部分を埋め合わせ、モダニズムの諸相の細部にわたって明確にする点にある。

2. 研究の目的

我々は、日本におけるアポリネール研究の認知度を高め、没後 100 年の際には、整備されたアポリネール全集の翻訳を上梓することができるような環境を整えることで、日本のアポリネール研究に寄与することを目的として掲げた。また、本研究ではアポリネールのすべての文学・時事評論を研究対象とし、当時の文壇のあり方(アカデミズム文学と前衛文学がいかなる形で共存していたか、それぞれのグループはどのような組織構造であったのか、その存在様式がいかんして、シュルレアリスムへと向かっていくのか、など)

を詳細に分析し、同時代の文学の潮流を明らかにすることにより、国内外における 20 世紀初頭の人文科学研究に貢献したいと考えている。

3. 研究の方法

アポリネールの文学批評を研究対象とし、ベル・エポック期の文壇のあり方を詳細に分析しながら、フランス・モダニズムの諸相を明らかにするという従来にないアプローチの構築による研究目標と同時にアポリネールの文芸評論の翻訳の完遂に向けて、本研究はその 3 年間の研究期間を 1 年ごとに区切り、短期的な目標を立てた。そしてそれぞれの期間で、本研究の目的を達成するために、以下のような研究方法をとることとした。

(1) 研究環境の整備:アポリネールの文芸評論の全訳作成、資料調査、データベースの作成を行う。

(2) フランスのベル・エポック期における文壇の状況調査:当時の雑誌や新聞、書籍などのうち関係するものを購入、複写、マイクロフィルムなどの形で入手する。またこれら資料のデータベースも構築する。

(3) フランス本国の研究者との連携:フランスの研究者と協力しながら、アポリネールの文学批評の詳細な校注作成を行う。また、フランス人研究者を招き、講演会やシンポジウムを企画・開催する。

4. 研究成果

我々は、アポリネールの文学評論の全訳を刊行して、国内における文学批評家としてのアポリネールの認知度を向上させることを当面の目標とし、3 年間の研究期間を出版に先立つ基礎調査期間として位置づけた。そして、詳細な校注、解説を含むアポリネールの文芸評論の全訳作成と研究に必要な不可欠な文献資料の収集によって研究環境整備に主眼をおき、研究を推進してきた。

その結果、実施計画に多少の遅延が生じたものの翻訳の下訳作業と注釈、解説の執筆作業は大部分完了し、3 年間の研究期間の所定の研究目標に到達することができた。また、研究環境の整備については、連携研究者であるパリ第三大学教授 Daniel Delbreil 氏とパリ第十二大学准教授 Laurence Campa 氏との意見交換を実施し、日仏二カ国間での研究体制を整えた。同時に、主にフランス国立図書館とパリ第三大学図書館での資料調査と図書購入も行い、国内におけるフランス・モダニズム研究の環境をかなり整備することができた。まだ未入手の資料もあり、その入手方法が今後の課題として残っている。

具体的には、以下のような調査研究と研究

環境の整備を行った。

(1) Pléiade 版 Tome II の《 Critiques Littéraires 》 (pp.880-1222) の翻訳

(2) 現地研究者 (連携研究者 Daniel Delbreil パリ第三大学教授と Laurence Campa パリ第十二大学准教授) との校注作成に関する意見交換と共同研究

(3) 関連分野に関する基礎資料の収集とデータベースの作成

(4) 研究成果の公開 (論文、セミナー、公開講座)

研究実績の特筆すべき点として、2011 年 11 月に共同研究者であるパリ第三大学教授 Daniel Delbreil 氏を招聘し、数回にわたる講演会と研究会を開催することによって、本研究の意義を広く社会に向けて公表したことがあげられる。フランス本国の研究者との協力関係を取り結び、日仏研究者の共同研究体制も確立できたと考える。

今後はベル・エポック期のフランスにおけるモダニズムの形成と展開を対象とした研究平成24年度～26年度科学研究費補助金研究 (基盤研究C) 「20世紀初頭のフランス文芸思潮におけるモダニズムの形成と展開に関する実証的研究」 (課題番号: 24520374、研究代表者: 伊勢晃) に研究を引き継ぎ、調査研究の一層の精度向上と国内外における成果公表に努めていきたい。

2018年にはアポリネール没後100年を迎えることになり、フランスではそのための準備が研究者のあいだですでに進められている。同年までには、アポリネールの文芸評論の全訳と詳細な注釈と解説を加えたものを刊行し、国内外に研究成果を公表するとともに、わが国におけるフランス・モダニズム研究に貢献したいと考える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 11 件)

① Akira ISE, Le rire comme facteur de désordre dans les récits d'Apollinaire, *Apollinaire et les rires 1900*, 査読有, 2012, pp. 101-108.

② 伊勢晃, 雑誌『シック』と『ノール・シュッド』に見られるベル・エポック期以後のアポリネールの位置, コミュニカーレ (同志社大学グローバル・コミュニケーション学会), 査読有, 1 巻, 2012, pp. 125-133.

③ 伊藤洋司, アポリネール、恋愛書簡の機能—とマドレーヌへの手紙, 仏語仏文学研究 (東京大学仏語仏文学研究会), 査読有,

42 巻, 2011, pp. 133-143.

④ 佐藤文郎, 『異端教祖株式会社』、「瀆聖」にみるメシア像, 紀要 (京都嵯峨芸術大学), 査読無, 36 号, 2011, pp. 1-9.

⑤ 伊勢晃, アポリネールと文学批評 (3) - *Les Soirées de Paris* を中心に-, 年報・フランス研究 (関西学院大学フランス学会), 査読無, 44 号, pp. 1-13.

⑥ 佐藤文郎, 芸術的自然観と「新精神」~『ラントランセジャン』紙におけるアポリネール美術批評への視点 (2), 紀要 (京都嵯峨芸術大学), 査読無, 35 号, 2010, pp. 1-10.

⑦ 伊勢晃, アポリネールと文学批評 (2)-雑誌 *La Revue immoraliste* を中心に-, 年報・フランス研究 (関西学院大学フランス学会), 査読無, 43 号, 2009, pp. 1-11.

⑧ 森田いく子, Apollinaire et le folklore, 仏文研究 (京都大学フランス語学フランス文学研究会), 査読有, 40 号, pp. 69-89.

[学会発表] (計 5 件)

① 伊勢晃, アポリネールとベルギー, 関西ベルギー研究会, 2011 年 6 月 25 日, 西宮市大学交流センター

② 伊藤洋司, 第一次世界大戦と映画, 京都大学人文科学研究所研究会 (「研究チーム「第一次世界大戦の総合的研究に向けて」」), 2009 年 6 月 13 日, 京都大学人文科学研究所

[図書] (計 2 件)

① 伊藤洋司, 中央大学出版部, フランス—経済・社会・文化の諸相, 2010, pp. 155-180.

② 伊藤洋司, 中央大学出版部, 映像表現の地平, 2010, pp. 281-316.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

伊勢 晃 (ISE AKIRA)

同志社大学・グローバル・コミュニケーション学部・教授

研究者番号: 00379059

(2) 研究分担者

三好 郁朗 (MIYOSHI IKUO)

京都嵯峨芸術大学・芸術学部・教授

研究者番号: 60047165

佐藤 文郎 (SATO FUMIRO)

京都嵯峨芸術大学・芸術学部・教授

研究者番号: 30434773

伊藤 洋司 (ITO YOJI)

中央大学・経済学部・教授

研究者番号: 10384728

辻野 稔哉 (TSUJINO TOSHIYA)
秋田大学・教育文化学部・准教授
研究者番号：40312524

森田 いく子 (MORITA IKUKO)
同志社大学・言語文化教育研究センター
・嘱託講師
研究者番号：50460697
(H22→H23 連携研究者)